ひろかだより

第318号

平成31年1月1日

発　行

弘果 弘前中央青果株式会社

弘前市大字末広１丁目2-1

ＴＥＬ　0172-27-5511

ＵＲＬ　http://www.hiroka.jp

「新春を迎えて」

弘果 弘前中央青果株式会社

代表取締役社長

大中　忠

平成31年を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、平素は弘果ならびにグループ各社に対しまして、格別のお引き立て、ご厚情をいただいておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世相を表現する漢字が「災」となったように、各地で発生した度重なる地震、豪雨、台風等の「自然災害」の発生をはじめとして、スポーツ界のパワハラ問題、財務省の文書改ざん、大学の不正入試等の「人災」が世間を騒がせるなど、まさしく「災」に見舞われた一年でした。今年は過去の「災」に対して然るべき検証と処置を施し「災い転じて福となす」として、良い一年となることを祈念いたします。

全国の農業関連では、低温、日照不足、猛暑と不順天候が目まぐるしく発生し、そのため農作物の生育に大きな影響を及ぼし、減産を余儀なくされる産地も多発した一年でした。当地の主力品目であるりんごは、黒星病の発生や度重なる台風の影響により、下位等級品の割合が多くならざるを得ませんでしたが、生産者の皆様の長年の経験に基づく、たゆまぬ努力により、全体的に品質・食味共に好く仕上がり、連日市場では活気溢れる取引が行われております。

現在、農産物の生産現場や流通現場では、国内外の政治情勢や経済環境の大きな変化、少子高齢化による労働力不足と需要の減少、多様化する価値観や消費者ニーズ等、その対応に予断を許さない状況にあります。また、刻一刻と変化し続ける時代のなか、「卸売市場法」の改正が近づいており、食料品流通の枠組みに於いて「卸売市場」そのものの役割と存在意義が改めて問われております。

弘果グループとしましては、地域と共に歩む企業集団として、農産物の流通や各種サービスを通じて、地域と全国そして世界を繋ぎ、産地の維持ならびに活性化を積極的に展開していくことが、ますます重要であると考えております。取り組みの１つとして弘果では、積極的な販売促進と、競争力のある産地の維持・発展を目的として、これまで展開してきた「つがりあん」ブランドと、世界規模で知名度の高いキャラクター「ハローキティ」を結びつけ、各種プロジェクトを展開しております。

最後になりますが、弘果グループはこれまで同様、山積する課題や諸問題に対し、発展的な提案と取り組みをもって、生産者や業者の皆さまは勿論、地域の皆様のお役に立てるよう日々努力する所存でございますので、どうか引き続きお引き立てとご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

(株)弘前水産地方卸売市場　(株)津軽りんご市場　(株)弘前花き

(株)弘前丸魚　(株)弘果物流　(株)スコーレ

弘果総合研究開発(株)　弘果コスモ保険サービス(株)　弘果りんご園(株)

弘果総合卸売組合　会長 山田 明宏
弘果青果仲卸組合　会長 安田 清一
弘果弘青会　会長代行 葛原 和典
弘果地場やさい連絡協議会　会長 石田 嘉人
弘前花き弘栄会　会長 相馬 博光
弘果・弘前花き連絡協議会　会長 高杉 成春
弘果りんご買参人共進会　会長 森山 博幸
弘果りんご買参人共進会青年部　部長 野呂 知洋
弘果りんご連絡協議会　会長 須藤 恵司
弘果りんご連絡協議会婦人部　部長 島内 恵子
弘果りんご連絡協議会青年部　部長 安田 英広
青森オリジナルメロン生産連絡協議会　会長 木村 文信
青森オリジナルメロン生産連絡協議会青年部　部長 工藤 幹康
津軽りんご市場連絡協議会　会長 西塚 光弘
津軽りんご市場連絡協議会　会長 葛西 直人
津軽りんご市場連絡協議会婦人部　部長 花田勢津子
津軽りんご市場連絡協議会青年部　部長 秋田 拓伸
弘前水産仲卸組合　理事長 斎藤 鐵己
弘前水産冷蔵協同組合　代表理事 柏崎 政英

平成31年を迎えて

弘果グループ関連の生産者団体の会長に昨年を振り返ってもらい、業界を取り巻く情勢を踏まえ、平成31年に向けた取り組みについて展望していただきました。

弘果りんご連絡協議会
須藤　恵司　会長

昨年のりんご生産を振り返ると、「黒星病」発生による被害、度重なる台風の影響によるキズ果等下位等級品の増加で上実率が低く、我々生産者を悩ませました。その様な状況の中、黒星病被害果を弘果が取り扱っていただいたことに、感謝申し上げます。

「黒星病」については、現時点で特効薬も無く、また防除の回数が増えると経費がかさむ等、その対応に苦慮しておりますが、行政や関係機関を頼るだけではなく、生産者が栽培経験を活かし、知恵を出し合って対策を施し、共有していく姿勢が大事だと考えます。

現在、りんごの生産現場では、異常気象による自然災害やりんご生育環境への懸念、少子高齢化による労働力不足、後継者不足、それに伴う有袋化率の低下等、問題が山積しております。これらの諸問題を考えていく上で、私自身が大事にしている一文字「手」が重要になると考えます。「手」は第二の脳とも言われ、「手を差しのべる」「手ほどきする」「手を合わせる」等、「手」が含まれる言葉は、人間関係構築の要点となり、そこから解決に向けた取り組みが始まるかも知れません。弘果りんご連絡協議会の会長に就任し、生産者及びりんご産業に携わる皆様と「手」を取り合い、共に歩み、更なる発展に繋げるため、努力して参ります。

津軽りんご市場連絡協議会
葛西　直人　会長

その年の世相等を反映した「今年の漢字」的に、りんご生産において考えてみると、29年産は「小玉傾向」、そして30年産は「黒星病」となるのではないでしょうか。

「黒星病」への対策は予断を許しません。胞子飛散により感染が広がるため、薬剤散布や感染した葉の処理を的確に行う等の防除の徹底を、りんごを生産する全ての園地で行わないと、発生の減少や根本的な解決に繋がらないと考えます。青森県のりんご生産及び産業を衰退させないため、生産者及び関係機関が相互協力して取り組まなければなりません。また、病害の対策は勿論、今までで培ってきた知識、技術で収量の安定や大玉生産に繋げ、更なる高品質生産を行うことが、日本そして世界に誇れるりんご産地の発展に貢献できると考えます。

今年は「平成」から年号が変わる節目の年となり、大きな災害等無く、天候に恵まれることを祈念して、我々りんご生産者は、新時代に向けて美味しいりんごを作り続けます。

今年の干支「亥」をモチーフとした文字絵りんご
弘前市下湯口　岩崎智里氏　制作

青森オリジナルメロン生産連絡協議会
木村　文信　会長

平成30年のメロンの状況を振り返りますと、天候不順が生育に影響し品質の低下を招き、また、猛暑で消費が鈍る等、総じて「不本意」と言わざるを得ない年となりました。しかし、「アムさん」を除く「つがりあんメロン」の箱をワンタッチで組み立てられる仕様に統一したことで、生産現場の労力軽減となり、今後に繋がる成果となりました。

今後を展望しますと、被害が増えております「土壌病害」への対策が喫緊の課題となります。病害を克服するために、積極的に勉強会等を開催し、会員が共通の認識を以て、土づくりを徹底して行う予定です。また、毎年開催しております「わくわくキャンペーン」は、「ハローキティ」の応募シールが好評を得た反面、応募総数が落ち込みました。当選賞品やPR方法等内容を見直し、更なる販売促進に繋げていきたいと思います。

今年も私達メロン生産者は、「つがりあんメロン」をはじめとする、美味しく高品質なメロン生産で産地の活性化に繋げ、また、賞味された皆様に喜んでいただける様、より一層邁進いたします。

弘果地場やさい連絡協議会
石田　嘉人　会長

昨年は全国的な異常気象や自然災害の影響で、野菜の生産量、価格が大きく変動した一年でした。

この影響で野菜生産者は相場に一喜一憂し、また、採算性の問題から、栽培計画の変更を余儀なくされた方も多くいます。

野菜生産を生業としている以上、天候や産地間リレーで生産量、価格が変動することを前提に、農業経営をしていかなければなりません。栽培管理や品種構成を工夫することで、天候、販売のリスクを分散していく等、様々な方法が考えられます。また、生産現場の特性上、休みが不定期な上、年間雇用が厳しい等、なかなか労働力が集まらず、規模拡大は勿論、現状維持もままならない等、産地の維持・発展のため業界全体で考えていかなければならない課題が多くあります。

今年は大きな災害がなく天候が安定し、一年通して魅力あふれる農作物の安定生産に励み、その美味しさと良さを発信していくことで、野菜産地の活性化及び発展に繋げたいと考えます。

弘果・弘前花き連絡協議会
高杉　成春　会長

昨年に限ったことではありませんが、花き業界は全体的に消費が落ち込み、また、地元の生産者が年々減っている等、マイナス面が浮き彫りとなっております。

我々生産者は、供給面から業界を盛り上げていくため、品質向上や安定供給は勿論のこと、消費動向の多様化に対応していくことが重要です。また、花は「嗜好品」であると言われますが、弘前花きのキャッチフレーズにもあります「お花いっぱい幸せライフ」のように、日々の生活に潤いを与え、見る人を幸せにし、心の豊かさを育む「必需品」であることをPRしていくことが、今後の消費の喚起や新たな掘り起こしに繋がる「花育」活動として、業界全体で取り組むべき必要があると考えます。

花き業界の今後に向け、種として蒔いた地道な努力、活動が「花」開くことを願い、今年も一生懸命生産に努めます。

佐藤　寿秀（としひで）さん
高藤会
（藤崎町藤越）
昭和 22 年生まれ

①…自然災害、病害等、りんご栽培において何かと「害」が多い年でしたが、家族が今年一年を無事息災に過ごせたことで、私自身は良い年だったと思います。
②…何十年もりんご栽培を続けてきて、仕事への意欲が途切れることなく、更なる技術・品質向上へ向け、努力していきたい。
③…「真っ直ぐ進み続ける」私も人生に於いて、後退は考えず、常に前進あるのみで進んできました。

齋藤　靖彦さん
ＴＭＴ
（弘前市薬師堂）
昭和 34 年生まれ

①…全国的な天候不順の影響で、栽培しているミニトマトの単価が大きく変動するなど、正に「山あり谷あり」でしたが、全体的に良かったと言える一年でした。
②…出荷量が多い産地の動向を考慮した作付を行い、有利販売に繋げ、また、現在も行っているジュース、ジャム、ピクルス、ドレッシング等、農作物の六次産業化をもっと推進していきたい。
③…「猪突猛進」私自身が常に「攻め」の姿勢で、目標に向かい真っ直ぐ突き進んでおります。

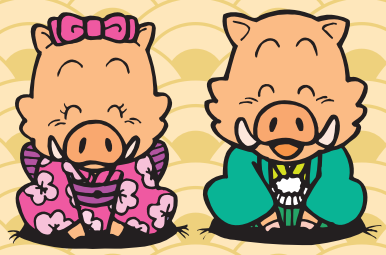
宮田　光春さん
コスモス出荷組合
（板柳町飯田）
昭和 34 年生まれ

①…とにかく黒星病に悩まされた一年でした。今年は早期に防除等園地の管理をしっかりと行い、黒星病による被害を少なくしたい。
②…還暦を迎えるにあたり、体力が落ちていることを実感しています。農作業は体力との戦いなので、あまり無理をせずに頑張り、長く続けていきたい。
③…津軽弁の「向かえば向かいっぱなし」良い意味で、目標に向け一心不乱に取り組み没頭している様子が、猪の習性である真っ直ぐ進むに似ていると思います。

佐藤　久美子さん
中山青果株式会社
（平川市猿賀）
昭和 46 年生まれ

①…家族、親族に病気等が続き、大変な一年でした。
②…万病予防として食されてきた猪の由来から、亥年は病気になりにくい年と言われています。家族全員が無病息災で過ごせる一年としたい。
③…昭和46年生まれは「辛亥（かのとい）」で、「家猪」「飼猪」と言われております。荒い猪のイメージと違い、心が正直で温厚とされているところが私に（多分）似ていると思います。

毎年恒例企画



「亥年」生まれに３つの質問

①…昨年はあなたにとってどんな年でしたか。
②…今年の抱負・決意をお聞かせ下さい。
③…「亥（猪）」でどんなことを連想しますか。

石岡　雄将（ゆうすけ）さん
弘果いちご栽培研究会
（弘前市小沢）
昭和 58 年生まれ

①…夏秋いちごの高設栽培に取り組んで昨年で９年が経ち、初めの数年間は失敗の連続でしたが、土と箱の相性や自分に合った作柄を試行錯誤して改良を重ね、ようやく収量、品質共に満足し、そして結果が伴ういちごが収穫できたと実感した年でした。
②…所有する全てのハウスで、成果があった栽培方法を実践し、更なる収量アップに繋げていきたい。
③…「猛進」一からいちごの栽培を始め、一人で戦いがむしゃらに進んできた自分と重ね合わせ、その勢いを失わない様に、これからも猪のように猛進し続けます。

村山　誠也さん
狐森かがやき出荷組合
（板柳町狐森）
昭和 58 年生まれ

①…平成30年の世相を反映した「今年の漢字」に「災」が選ばれましたが、我々りんご生産者にも「自然災害」等「災」が多い年だったと思います。今年は何事もなく、良い漢字が選ばれることを祈念いたします。
②…園地の品種構成が晩生種に偏っているため、中性種「トキ」の割合を増やす等、バランスの良い経営を心掛けたい。
③…「津軽一代様」妻も亥年、親族にも戌年がいることから、「戌亥」の一代様である弘前八幡宮へ家内安全を願い参拝しております。

横田　裕之さん
青森トレーディング
株式会社
（弘前市東城北）
昭和 58 年生まれ

①…日本からのりんご輸入条件が厳しいベトナムへ、生産者や各関係者の協力のもと、様々なハードルをクリアしてりんご輸出を本格開始出来たことが大きな成果となった一年でした。同国へのりんご輸出は将来性があり、今回の取り組みが今後の実績に繋がることを期待します。
②…今携わっているベトナムや他国向けへ、りんごをはじめとする青森県産品の輸出をさらに推進していくため、産地（青森県）と消費地（海外）を繋ぐパイプ役として、迅速、正確に情報を掴み、現状、動向を把握して取引を行っていきたい。
③…「勇往邁進」時には猪のような勢いで困難や失敗を恐れず、また輸出取引において最も重要である、人との信頼関係や繋がり、相互理解を今以上に深め、日々の業務に邁進していきたいと思います。

吉澤　千侑（ちゆき）さん
黒土出荷組合
（弘前市黒土）
平成７年生まれ

①…父のりんご栽培を手伝っていますが、まだまだ解らないことが多いので、勉強と経験を積む必要性を感じた一年でした。
②…多岐に渡る仕事の中で、自分なりの工夫をし、父のパートナーとしてしっかり仕事を支えていけるように努力したい。
③…「幸運が訪れる」とある占いでは、水瓶座生まれの亥年は、幸先の良い幸運が訪れるとありましたので、その占いを信じて、幸運が来ることを願っています。

今が旬 津軽の伝統野菜 一町田せり

冷たい水に浸かって行う収穫作業の様子

弘前市一町田地区で栽培される「せり」は、冬でも凍ることのない豊富な湧水を利用した、約400年の歴史を誇る津軽の伝統野菜で、「一町田せり」と呼ばれ親しまれています。独特の強い香りとシャキシャキとした食感が特徴です。

一町田せりを守る会の渋谷勝治会長の園地では、12月上旬から収穫が始まり、年末年始の需要に向け現在、収穫のピークを迎えています。渋谷会長は「これから出荷が増える季節となり、店頭で見かける機会が多くなると思うので、是非多くの人にその風味を味わってもらいたい」と話していました。また、お薦めの食べ方として「汁物、鍋物も良いが、炊きたてのご飯に、醤油、塩等で味を付けて、切った『せり』を混ぜ込んだ『せりご飯』にすると、より一層風味を楽しめます」と話していました。

収穫された「せり」は、きれいに水洗いされ、梱包して市場に出荷されます。収穫作業は雪が降り積もる2月頃まで続く予定です。

りんご展示会受賞団体決まる

弘果りんご連絡協議会（須藤恵司会長）及び同婦人部（島内恵子部長）主催のりんご展示会が、弘果第3卸売場特設会場に於いて12月1日～2日に開催され、部会員が丹精込めて育てた「ふじ（有袋・無袋）」「王林」など計43点が展示されました。展示品は12月3日に競売が行われ、活発な取引が行われました。

りんご展示会の各賞は左記のとおりです。

▼弘果りんご連絡協議会

【有袋ふじの部】（出展数9）
第1位……沖館りんご研究会
第2位……昭和りんご出荷組合
第3位……吉川出荷組合
最高糖度賞…沖館りんご研究会（13．9度）

【無袋ふじの部】（出展数21）
第1位……藤桜会
第2位……マル昭りんご研究会
第3位……吉川出荷組合
第4位……小沢丸進出荷組合
第5位……沖館りんご研究会
奨励賞……駒木出荷組合
奨励賞……藤崎町松竹生産組合
最高糖度賞…小沢丸進出荷組合（14．3度）

【王林の部】（出展数8）
第1位……蛇ノ目出荷組合
第2位……沖館りんご研究会
第3位……駒木出荷組合
最高糖度賞…沖館りんご研究会（14．7度）

【優良賞】
沖館りんご研究会（出展数11）

【弘果社長賞】
藤桜会

【弘果りんご買参人共進会会長賞】
沖館りんご研究会

▼弘果りんご連絡協議会婦人部

【無袋ふじの部】（出展数4）
最優秀賞……駒ノ台出荷組合

【最高糖度賞】
吉川出荷組合（無袋ふじ13．9度）

【奨励賞】
吉川出荷組合

津軽りんご市場連絡協議会（葛西直人会長）及び同婦人部（花田勢津子部長）の展示会では出展数が計18点となり、こちらも、津軽りんご市場第1卸売場特設会場に於いて11月30日～12月2日に開催され、12月3日に競売が行われました。

りんご展示会の各賞は左記のとおりです。

▼津軽りんご市場連絡協議会

【有袋ふじの部】（出展数2）
金　賞……高増ことぶき出荷組合
奨励賞……丸隆アップル

【サンふじの部】（出展数13）
金　賞……高増ことぶき出荷組合
銀　賞……恵出荷組合
銅　賞……太長共防会

【王林の部】（出展数2）
金　賞……恵出荷組合
奨励賞……太長共防会

【最高糖度賞】
コスモス出荷組合（サンふじ17．8度）

【津軽りんご市場社長賞】
高増ことぶき出荷組合

【津軽りんご市場曄峰会会長賞】
高増ことぶき出荷組合

▼津軽りんご市場連絡協議会婦人部

【サンふじの部】（出展数1）
奨励賞……高増ことぶき出荷組合
工藤　陽子氏

りんご無冷蔵品等早期出荷のお願い

弘果りんご部、津軽りんご市場では、平成31年初市後から「冷蔵品」「無冷蔵品」を区分けして販売します。

30年産サンふじは果肉先行型で、特にツル割れなどに障害が発生する恐れがありますので、無冷蔵品と併せて早期出荷をお願いいたします。

永年勤続優良社員表彰式

当社の永年勤続優良社員表彰式が、弘前市のフォルトーナに於いて12月20日の創立記念日に行われました。

表彰者は次のとおりです。（敬称略）

【40年表彰】
齋藤龍一（貿易部）、山田久見子（弘果りんご園）

【30年表彰】
平岡浩（そ菜部）、川合実（果実部）、
今井賢治（総務部）

【20年表彰】
齋藤貴樹（りんご部）、小田切裕輔（果実部）、
高橋孝広（弘果物流）

【10年表彰】
左爽（商事部）、加福美紗子（津軽りんご市場）、
葛西雅俊（りんご部）、川添隆平（津軽りんご市場）、
須藤一美（そ菜部）、棟方裕哉（津軽りんご市場）

表彰された方々おめでとうございます。

津軽市場 優良選果出荷組合を表彰

津軽りんご市場では、りんご選果のレベルアップを目的に、選果の良い出荷組合を選出し、「優良選果出荷組合」として表彰しました。

受賞団体（10団体）は下記のとおりです。

・太長生産組合
・横沢アップル支会
・西友会
・丸飯林檎出荷組合
・金盃りんごの会
・丸隆アップル
・丸杉同好会
・丸寿りんご研究会
・桂川りんご生産出荷組合
・横沢出荷組合

第14回 ゴニンカン弘果カップ

平成31年
2月20日(水)

申込み受付は
1月中旬から

自然災害や病虫害から あなたの経営を守ります!

りんご共済

31年産 加入申込み 受付中！

加入プラン	総合短縮方式	特定危険方式
補償期間	発芽期からその年の収穫期までの約8ヶ月（4～11月）	
対象となる災害	自然災害、鳥獣害、病虫害など	風水害、ひょう害、凍霜害
対象となる被害割合	畑ならし計算型は3割 畑ごと計算型は4割を 超える被害から共済金が 支払われます。	畑ならし計算型は2割 畑ごと計算型は3割を 超える被害から共済金が 支払われます。
	畑ならし計算型はすべての畑で被害を計算します。 畑ごと計算型は畑ごとに被害を計算します。	
加入申込期日	平成31年3月25日（月）	

○国が掛金の半分を負担しています。防風ネット、防霜ファンで掛金を割引！

安心のネットワーク NOSAI

ひろさき広域農業共済組合
☎ 0172-28-5700